

平成30年度（2018年度）
「中学校給食に関するアンケート」調査結果

平成31年（2019年）3月

平成 30 年度（2018 年度）「中学校給食に関するアンケート」

【実施目的】

豊中市では、平成 26 年度（2014 年度）4 月から選択制のデリバリー方式で、段階的に中学校給食を導入し、平成 28 年度（2016 年度）9 月から全校実施となり、その後 1 年以上の実績を重ね事業も認知されている。今後の事業展開の参考とするため、生徒・保護者・教職員の意見をアンケート調査により徴収するもの。

【対象者】

豊中市立中学校に在籍する生徒、保護者、教職員（給食利用有無に関わらず全員実施）

【調査時期】

平成 30 年（2018 年）9 月～10 月

【記入について】

- ・生徒 学校にて記入
- ・保護者 生徒が持ち帰り、記入後封筒にいれ、生徒を通じて学校に提出
- ・教職員 学校にて記入

【回収率】

配布枚数と回収数

	生徒	保護者	教職員
人数	9,441	9,440	667
回収枚数	8,007	6,341	413
回収率	84.8%	67.1%	61.9%

【アンケート設問】

生徒・保護者

- (1) 学年を選んでください
- (2) 中学校給食を利用していますか
- (3) 中学校給食は、どれくらい利用していますか
- (4) 中学校給食を利用している理由に当てはまるものを選んでください
(複数回答可)
- (5) 中学校給食を利用していない、または利用しなくなった理由に当てはまるものを選んでください(複数回答可)
- (6) 現在、豊中市では中学校給食を選択制により実施していますが、これからの中学校給食を見直すとすればどの方法が良いですか。
- (7) (6)で選んだ理由を選んでください(複数回答可)
- (8) 中学校給食に対してのご意見を自由にお書きください

教職員

- (1) ご自身は中学校給食を利用していますか。
- (2) 生徒が中学校給食を利用しない理由と思われるものを選んでください
(複数回答可)
- (3) 現在、豊中市では中学校給食を選択制により実施していますが、これからの中学校給食を見直すとすればどの方法が良いですか。
- (4) (4)で選んだ理由を選んでください(複数回答可)
- (5) 中学校給食に対してのご意見を自由にお書きください

【アンケートの設問について】

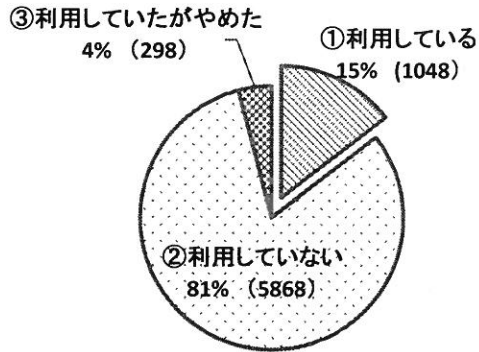
- ・生徒、保護者の設問(1)は学年を問う設問になっている。
- ・アンケートのまとめに記入した設問番号は生徒・保護者・教職員のアンケートに付けた設問番号を記入している。

問) 中学校給食を利用していますか。

【設問番号】生徒:(2) 保護者:(2) 教職員:(1)

生徒

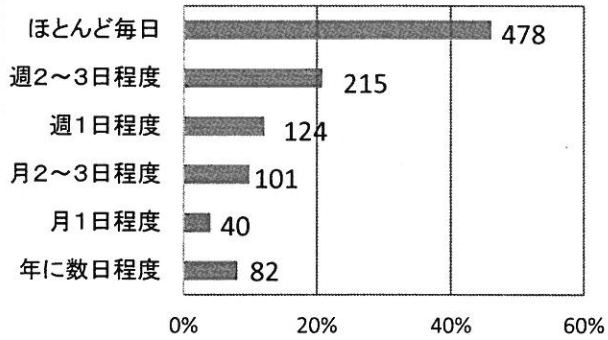
回答者数 7,214人



問) どれぐらい利用していますか

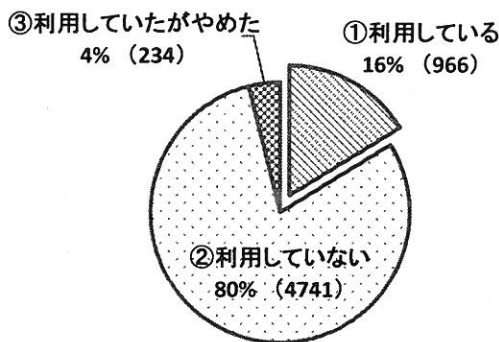
生徒:(3) 保護者:(3)

利用している頻度(%)
回答者数 1,040人(回答無8人)

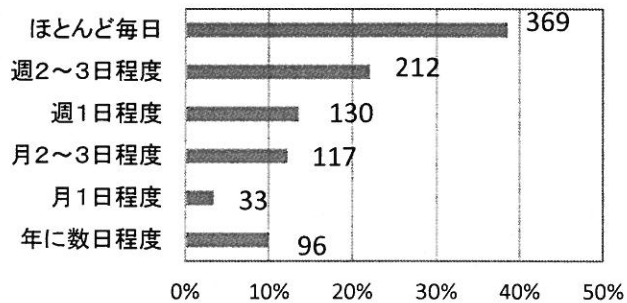


保護者

回答者数 5,941人

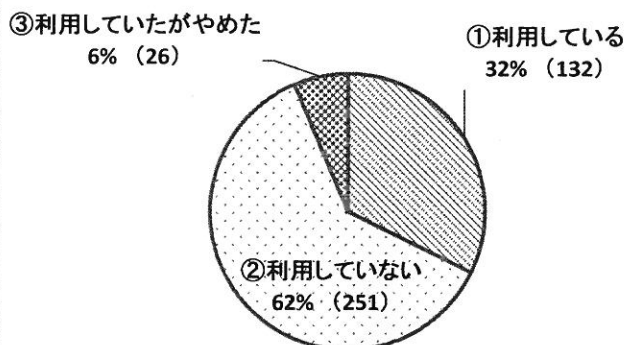


利用している頻度(%)
回答者数 957人(回答無9人)



教職員

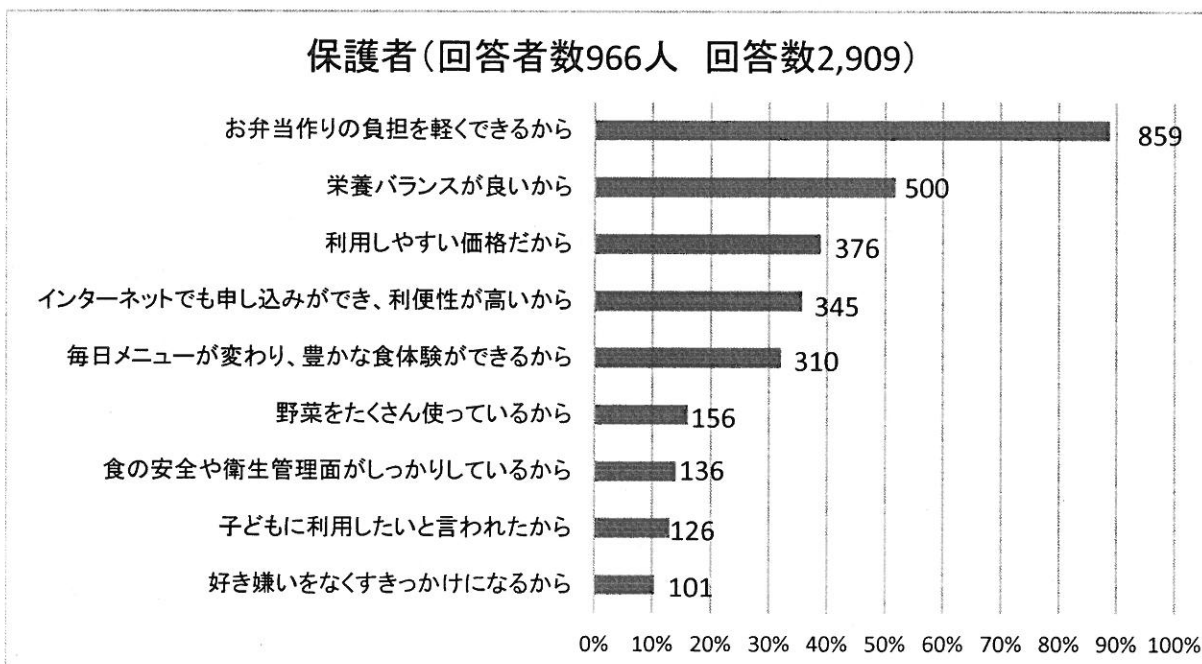
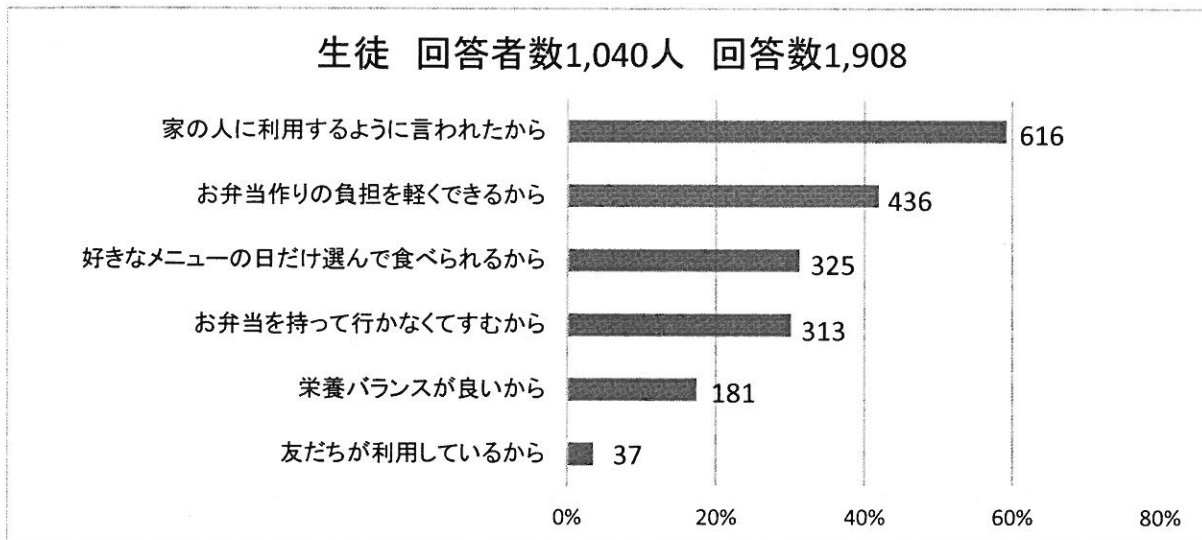
回答者数 409人



○生徒は全体の約15%、1,040人が利用しており、そのうち週1日程度以上利用している人は705人で全体の約1割となっており、概ね全市の喫食率に近い値となっている。
○保護者は生徒と同様の傾向を示しており、アンケートが正しく回答されていることがわかる。
○教職員は生徒より利用率が2倍程高い32%となっており、昼食の選択肢の一つとして確立していることが伺える。

問) 中学校給食を利用している理由に当てはまるものを選んで
下さい。(複数回答)

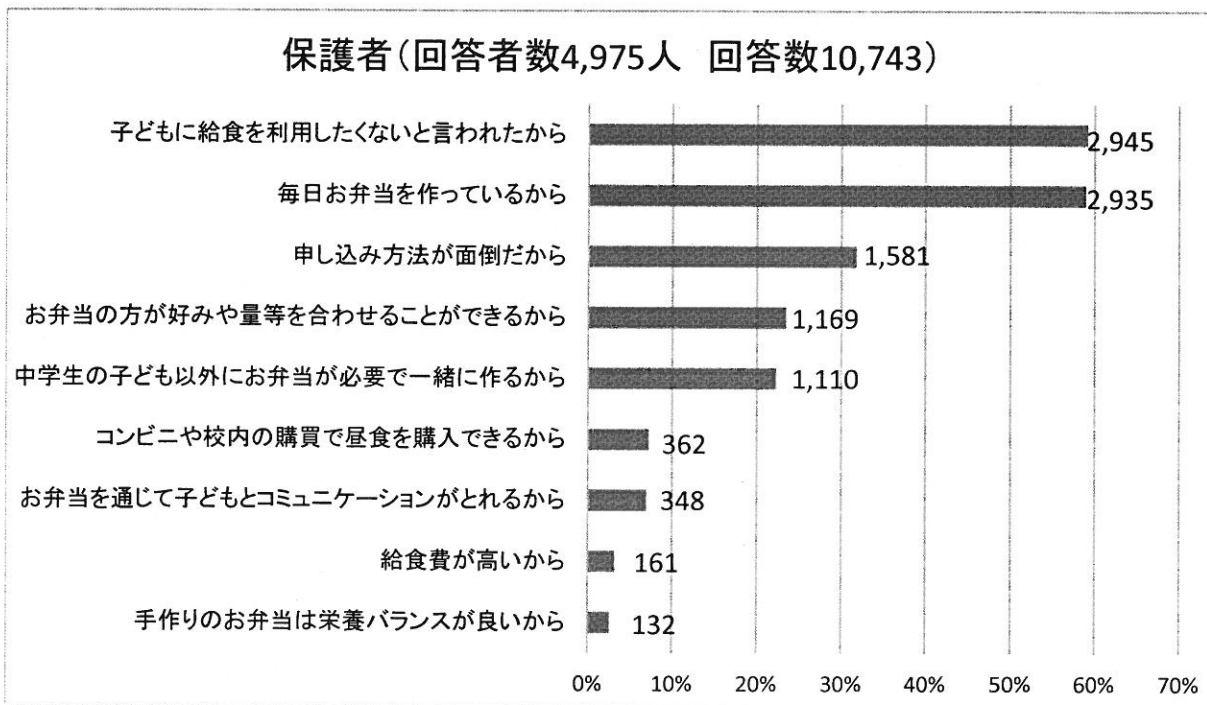
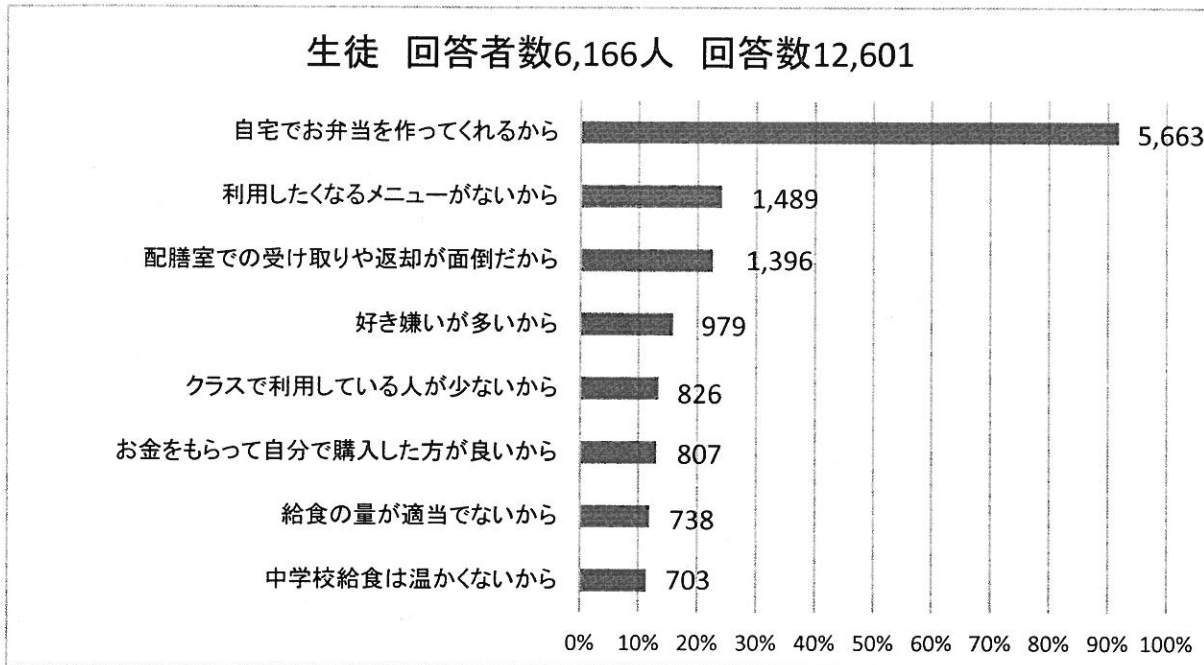
【設問番号】生徒:(4) 保護者:(4)



- 中学校給食を利用している多くの生徒は「家の人に利用するように言われたから」または「お弁当作りの負担を軽くできるから」のいずれかを理由に挙げている。あわせて中学校給食を利用している保護者の約9割が「お弁当作りの負担を軽くできるから」の意見を持っていることから、中学校給食利用の主要な理由は「お弁当作りの負担を軽くできるから」であると言える。
- 生徒は「好きなメニューの日を選んで食べられる」が3位に入り、選択できる制度を評価している声が多い。
- 給食を利用している保護者の約5割が「栄養バランスが良いから」を選択しており、献立を評価している声が多い。
- 給食を利用している保護者は価格、利便性、食体験を約3割以上の方が選択しており、中学校給食をポジティブに捉えている回答が多い。

問) 中学校給食を利用していない、または利用しなくなってきた理由に当てはまるものを選んでください。(複数回答)

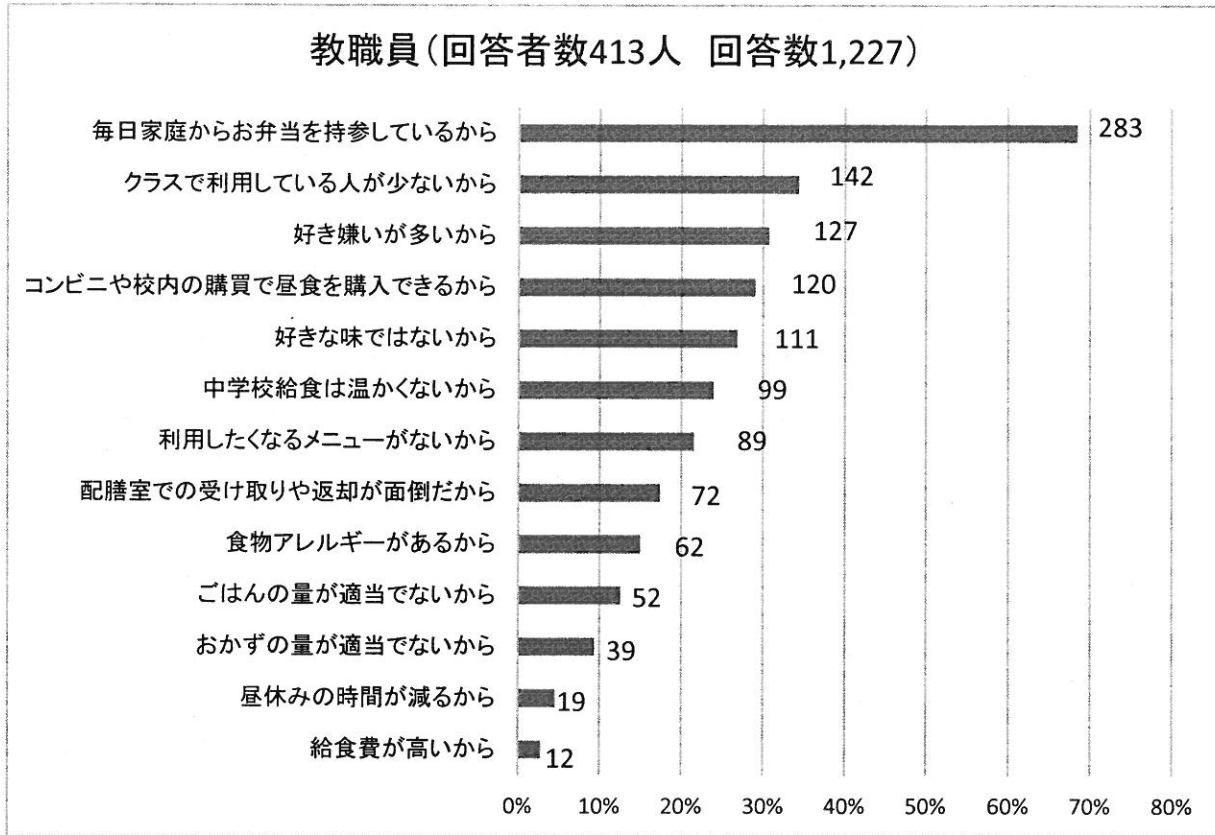
【設問番号】生徒:(5) 保護者:(5) 教職員:(2)



- 中学校給食を利用していない生徒の9割は「自宅でお弁当を作ってくれるから」を選択し、保護者の約6割は「子どもに給食を利用したくないと言われたから」も選択していることから子どもの意見で選択している家庭が多いことが伺える。
- 「給食の量が適当でないから」「中学校給食は温かくないから」を選択している生徒は約1割と低く、中学校給食を選択しない主要な理由にはなっていない事がわかる。
- 問3の利用している理由の保護者の回答では、申し込みの利便性を評価する意見が約3割あったが、利用していない保護者の回答では、「申し込み方法が面倒」を約3割の方が選択しており、申し込み方法には賛否両論ある事が伺える。

問)生徒が中学校給食を利用しないと思われる理由(複数回答可)

【設問番号】教職員:(2)

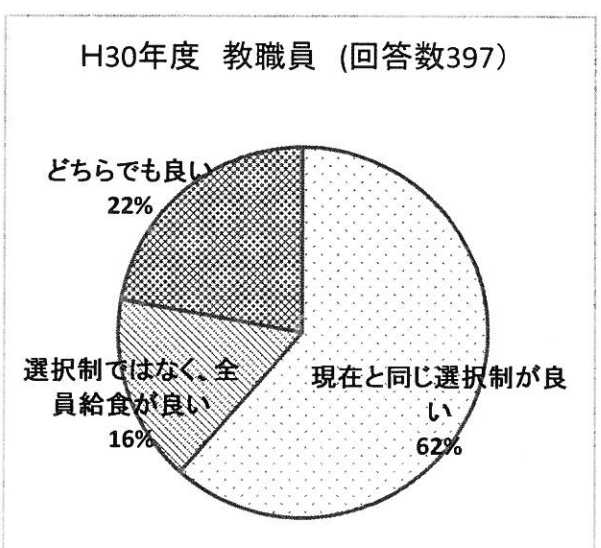
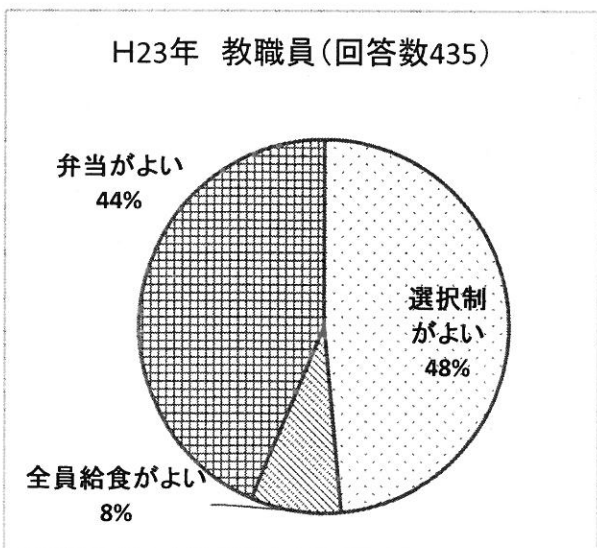
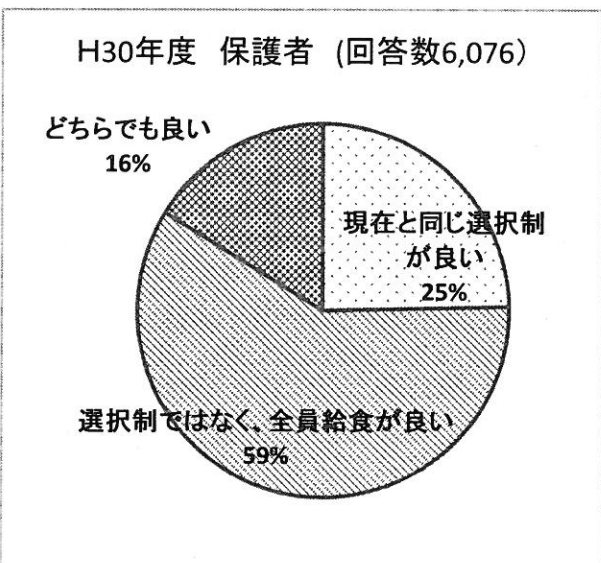
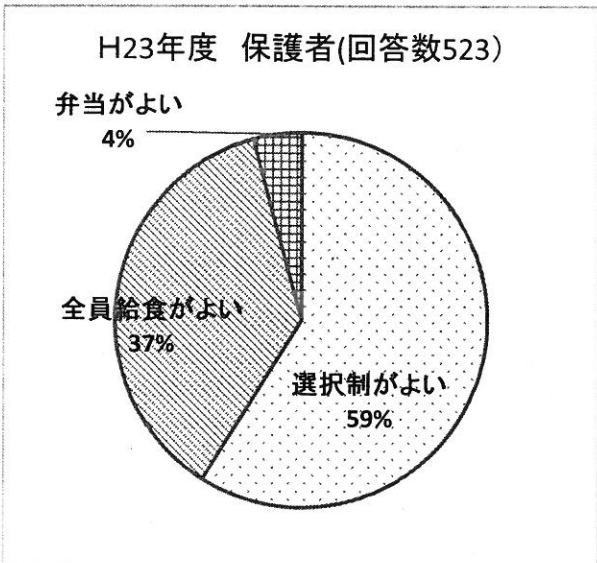
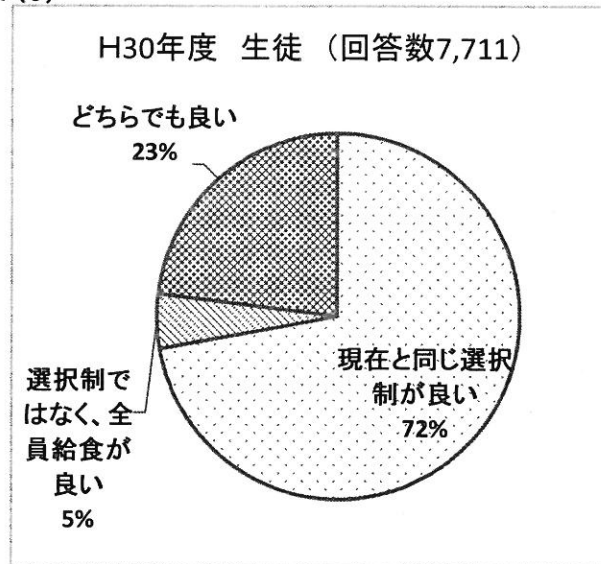
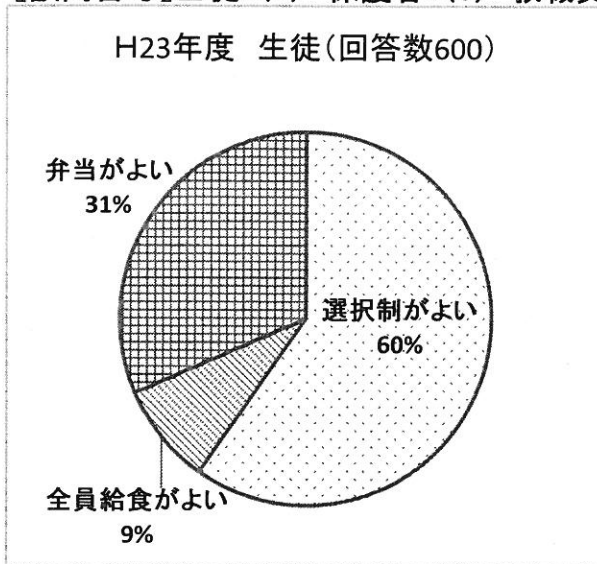


○教職員の約7割は「お弁当を持参しているから」を選択しており、他に突出した項目がない事から、教職員の立場からは利用されない原因が見えづらい状況が伺える。

○教職員の意見では、「クラスで利用している人が少ないから」を選択している人が3割以上おり、利用率の低さを原因と考える意見も多い。

問) 現在、豊中市では中学校給食を選択制により実施していますが、
 これからの中学校給食を見直すとすればどの方法が良いですか。

【設問番号】生徒:(6) 保護者:(6) 教職員:(3)



平成23年度(2011年度)アンケートについて

実施日:平成24年(2012年)2月実施

配布数:下記表のとおり

区分	抽出条件		人数
①生徒	夜間を除く18の中学校を対象に事務局が指定する各学校の中から1クラスを抽出(18クラス)	35人×18校	約630人
②保護者	調査を実施する生徒の保護者	35人×18校	約630人
③教員	全中学校の全教職員、学校用務員	40人×18校	約720人

○平成23年度(2011年度)に実施したアンケートにおける類似の質問と比較した。

生徒: 全員給食を望む声が9%から5%に減少し、選択制を望む声が60%から72%に増加した事から、現在の制度が支持されていることが伺える。

保護者: 全員給食を望む声が37%から59%に増加し、選択制を望む声が59%から25%に減少した。

教職員: 全員給食を望む声が8%から16%に増加し、選択制を望む声48%から62%に増加した。
全員給食、選択制ともに伸びている。

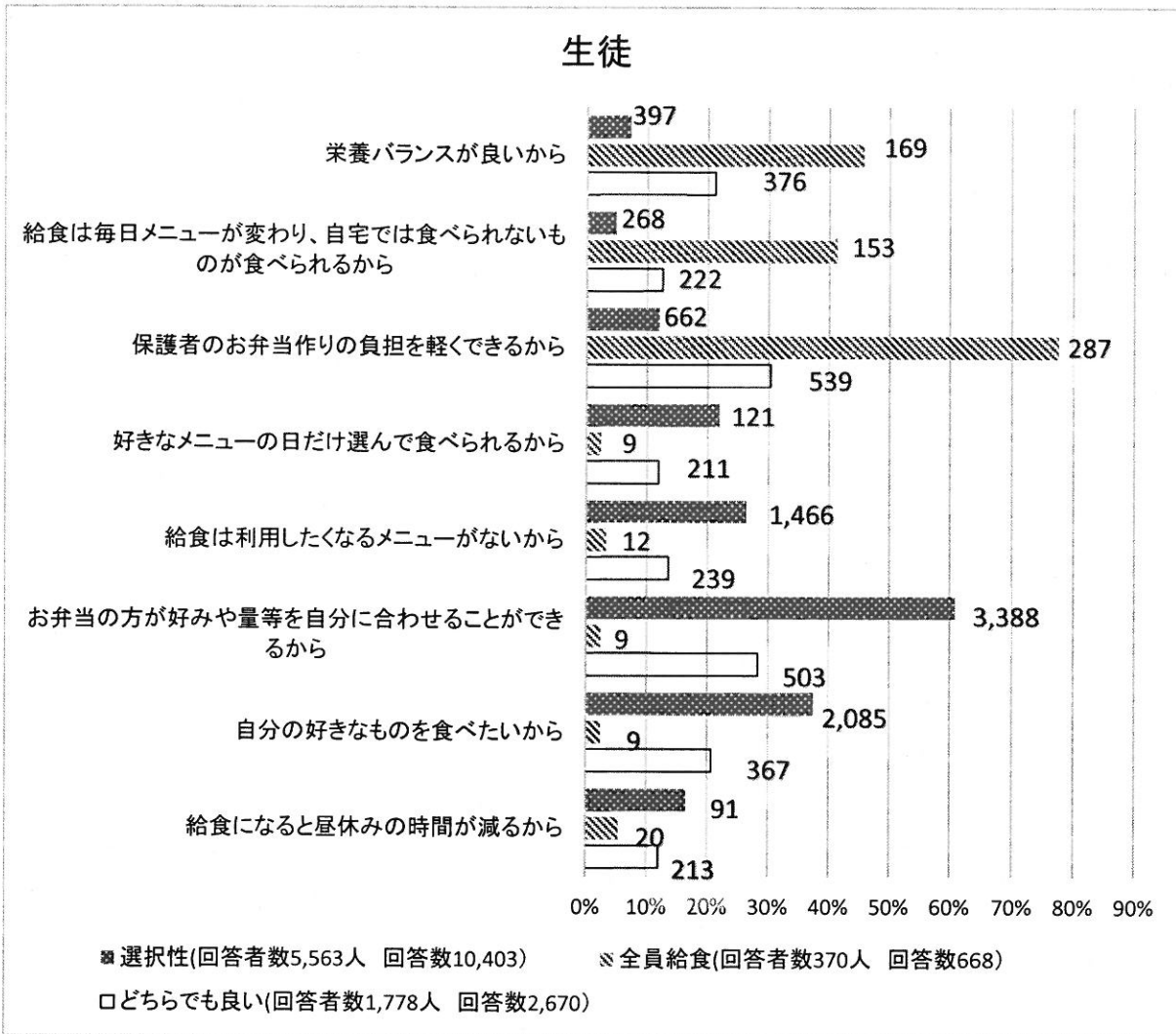
○前回と比較すると、保護者の意見が大きく変化し、全員喫食を求める声が約6割になった。このことから、生徒・保護者問)4の回答と総合的に判断すると、お弁当作りの負担軽減を求める声が大きくなっていることが伺える。

○保護者と教職員は全員給食を望む声が伸び、生徒は選択制を望む声が伸びている。

問) これからの中学校給食を選んだ理由を選んでください。

(複数回答可)

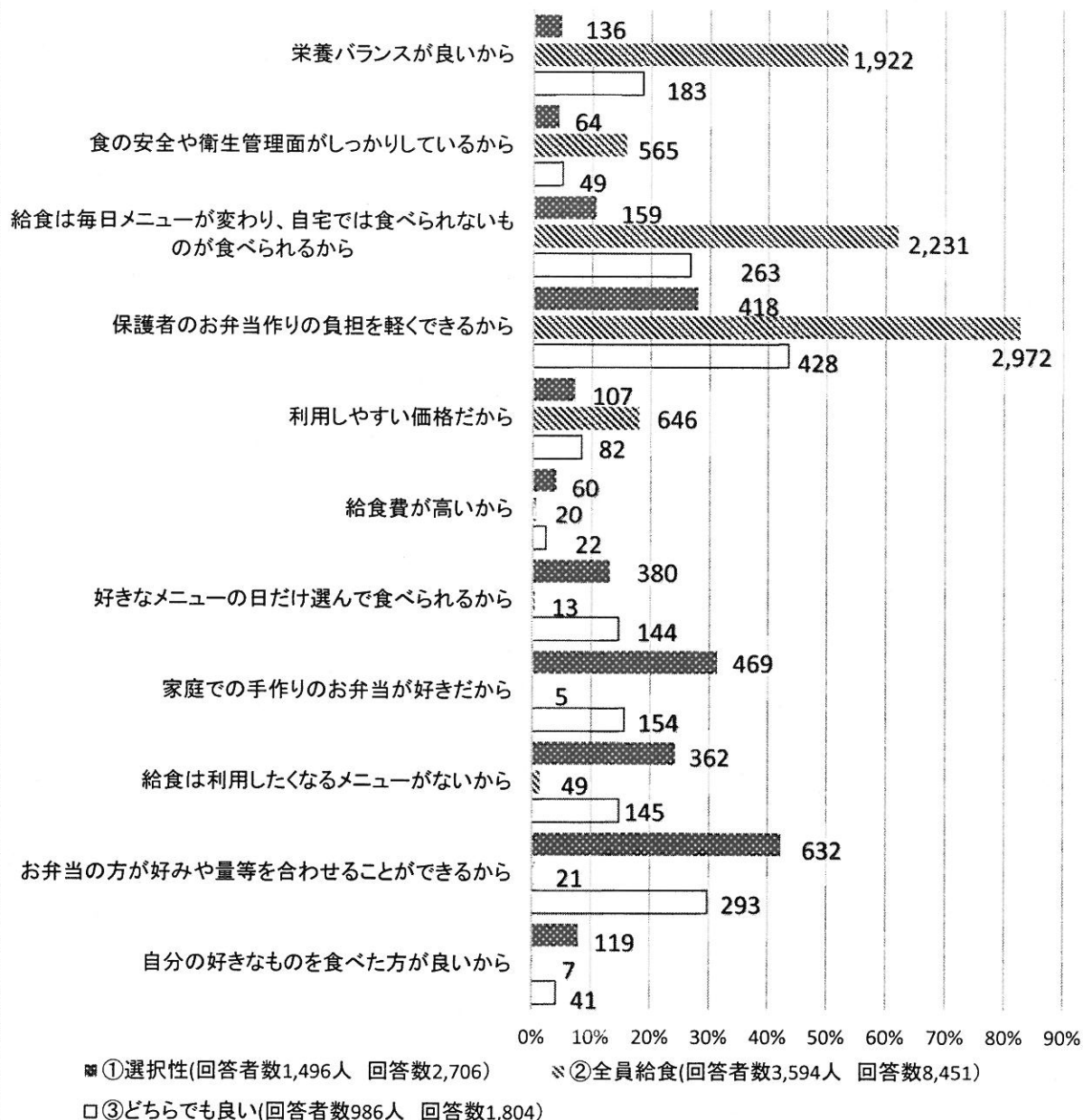
【設問番号】生徒:(7) 保護者:(7) 教職員(4)



○中学校給食の見直しについて、選択制を希望する生徒の約6割が「お弁当の方が好みや量等を自分に合わせることができるから」をその理由に挙げており、お弁当を望んでいる声は突出して多い事がわかる。

○全員給食を希望する生徒の8割近くが「保護者のお弁当作りの負担を軽くできるから」をその理由に挙げており、家事の軽減を意識した回答が突出していることがわかる。

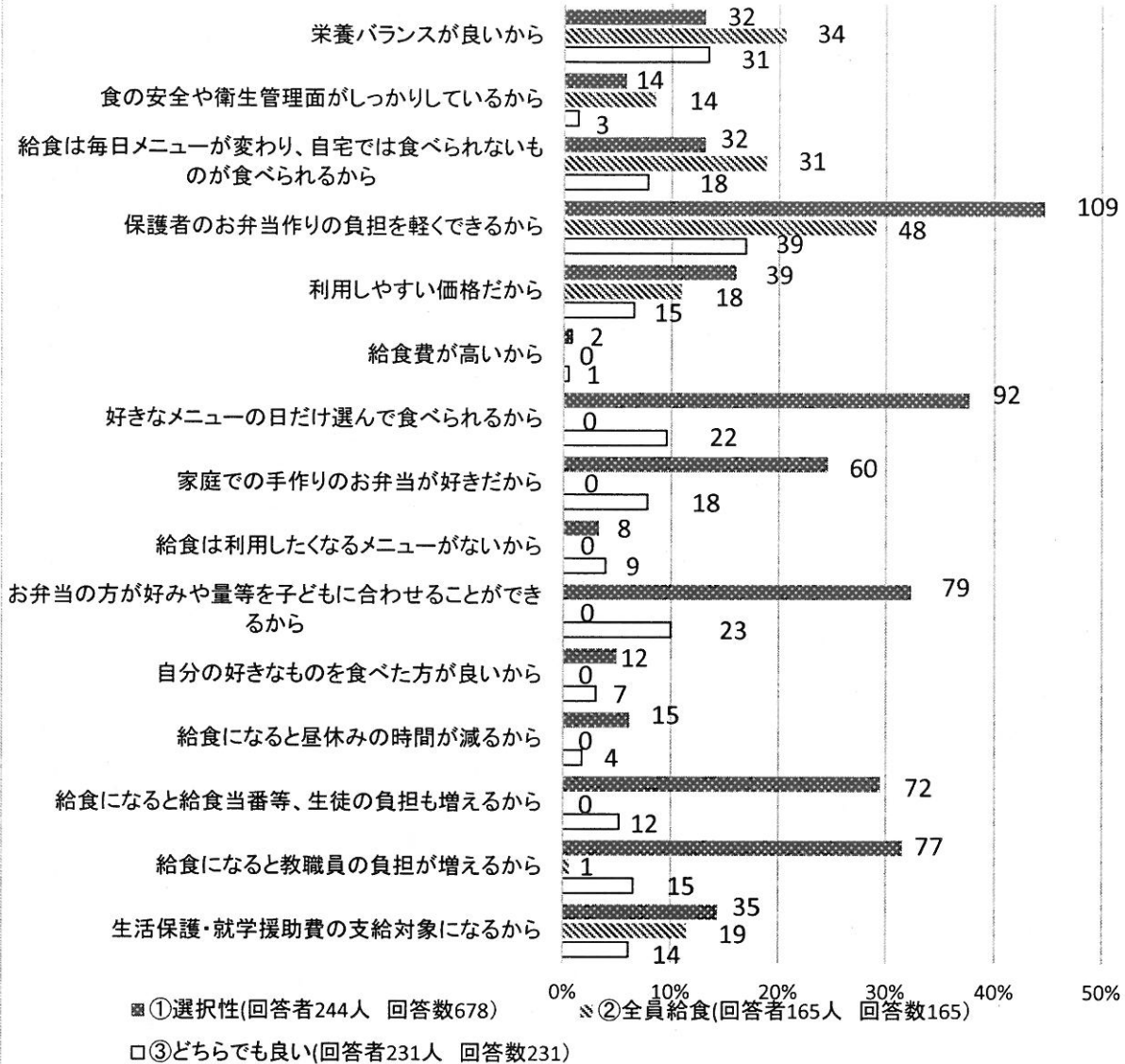
保護者



○中学校給食の見直しについて、選択制を希望する保護者の約4割が「お弁当の方が好みや量等を自分に合わせる事ができるから」をその理由に挙げており、お弁当を望んでいる声が多いことがわかる。

○全員給食を希望する保護者の8割以上が「保護者のお弁当作りの負担を軽くできるから」をその理由に挙げており、家事の軽減を期待する回答が多いことがわかる。

教職員



○中学校給食の見直しについて、選択制、全員給食、どちらでも良い、のどれを選択した教職員もその第一の理由に「保護者のお弁当作りの負担を軽くできるから」を挙げており、家事の軽減を意識した回答が多いことがわかる。

○回答者の属性(生徒、保護者、教職員)や選択した見直し方法に関わらず、選択の理由に「保護者のお弁当作りの負担を軽くできるから」を挙げている回答が多く、学校給食に家事の負担軽減を期待する潜在的な声が多いことが伺える。

アンケート自由記載欄まとめ

中学校給食に関するアンケート集計(自由記載欄)

生徒・保護者は100人以上が同一の意見を述べている物を、教職員は多い意見上位5番目までをまとめた。

(比率はアンケート回収枚数に対する割合)

	生徒 (回収枚数8,007枚)	合計	割合
1	給食の量の選択(多い、普通、少ない)	351	4.4%
2	給食を温かくして欲しい(冷たいものは冷たく)	314	3.9%
3	現状(選択制)のままが良い	297	3.7%
4	栄養バランスが良い(苦手なメニューの克服)	260	3.2%
5	美味しくない	204	2.5%
6	生徒の好きなメニュー(デザート、カレー、パン、果物、麺類)を取り入れる	178	2.2%
7	美味しそうに見えない	148	1.8%
8	現状では全員給食を望まない(非現実的)	141	1.8%
9	美味しい	139	1.7%

(合計数/回収枚数)×100

	保護者(回収枚数6,341枚)	合計	割合
1	全員給食制にして欲しい(方法問わず)	538	8.5%
2	小学校と同様の給食にして欲しい	384	6.1%
3	給食を利用していない人が多い(自分だけ食べるのが恥ずかしい)	214	3.4%
4	給食の量(多い、普通、少ない)を選択できるようにして欲しい	211	3.3%
5	美味しくない	211	3.3%
6	当日の申し込みができるようにして欲しい(〆切が1週間前は予定がたてにくい)	202	3.2%
7	温かくして欲しい	195	3.1%
8	選択制だと、食べ始めるのにお弁当の子と時間差がでる(取りに行くのが面倒)	184	2.9%
9	美味しくないと聞いた	117	1.8%
10	美味しくなさそう	114	1.8%
11	選択制(アレルギーある為、子供の選択、給食費滞納)のままがいい	122	1.9%
12	栄養バランスがいい	113	1.8%

(合計数/回収枚数)×100

教職員(回収枚数413枚)		合計	割合
1	選択制のままが良い	22	5.3%
2	小学校同様の給食(自校方式給食)が良い	14	3.4%
3	時程の見直し、システム改善	12	2.9%
4	給食の量(多い、普通、少ない)を選択できるようにして欲しい	9	2.2%
5	利用方法が面倒	7	1.7%
5	給食導入やアレルギー対応が遅い	7	1.7%
5	温かくして欲しい	7	1.7%
5	全員給食制にして欲しい	7	1.7%

(合計数/回収枚数)×100

(生徒)

- 給食の量や温度など給食の提供方法に関する意見を合わせると665人となり、最も多い意見である。
- 現状の選択制を望む声と全員喫食を望まない声を合わせると438人となり、1番目に多い意見で【問5】の回答と整合性が取れている。
(全員給食を望まない人で、お弁当を希望している意見もあると思う。)
- 美味しくないとの意見が204人いる一方で、美味しいとの意見も139人おり、味については個人の好みによることが分る。
- 美味しそうに見えないとの意見が148人おり、食わず嫌いの生徒も多いことが分る。
- 栄養バランスが良いとのポジティブな意見も上位に入っている。
- メニューの改善を求める意見も多い。

(保護者)

- 全員給食を求める意見が922人、自由記載欄に記入した人の14.5%で、その内384人、6%は小学校給食と同様のスタイルを求めている。
- 一方、現在の選択制を望む意見も122人、2%ある。
- 美味しくないとの意見が211人いる一方で、食べたことはないが「美味しなさそう」、「美味しくないと聞いた」との意見が231人おり、イメージで判断している保護者が多いことが分る。
- 栄養バランスが良いとのポジティブな意見も上位に入っている。

(教職員)

- 選択制が良いとの意見が22人と最も多く、次いで小学校給食と同様の給食を含めると、全員給食制を求める意見は21人おり選択制、全員給食を求める意見は拮抗している。